

**平成28年度業務実績及び第3期中期目標期間の終了時に見込まれる
業務実績評価に当たっての評価項目・分担（案）**

平成28年度業務実績評価

評価項目（平成28年度）【項目数：20】	H28 自己点検 評点(案)	分量 (ページ数)		担当委員 (案)	(参考) H27評点
第一 国民に対して提供するサービスその他の業務の 質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置					
1 総合的事項				佐分委員 山本委員	
(1) 学術の特性に配慮した制度運営 (2) 評議員会等 (4) 自己点検及び外部評価の実施 (5) 公募事業における電子化の推進	B	10	19		B
(3) 学術システム研究センター	A	6			A
(6) 研究費の不正使用及び研究活動における不正行為の防止	B	3			B
2 世界レベルの多様な知の創造				植田委員 山本委員	
(1) 学術研究の助成					
①審査・評価の充実	A	14	33		A
②助成業務の円滑な実施					A
⑤学術研究助成基金の管理及び運用					(S※)
③研究成果の適切な把握及び社会還元・普及	S	9			A
④助成の在り方に関する検討				S	
(2) 学術の応用に関する研究の実施	B	6		A	
①課題設定による先導的人文学・社会科学 研究推進事業					
②東日本大震災学術調査					
(3) 研究拠点の形成促進	B	4		B	
3 強固な国際協働ネットワークの構築				鷹野委員 高梨委員	
(1) 国際的な共同研究等の促進	B	9	27		A
①諸外国との二国間交流の支援					
②国際的な共同研究の推進					
③研究教育拠点の形成支援					
(2) 国際研究支援ネットワークの形成	A	9			S
①諸外国の学術振興機関との連携					
②研究者ネットワークの強化					
③海外研究連絡センターの戦略的展開					
(3) 世界的頭脳循環の推進とグローバルに活躍する 若手研究者の育成	A	9		B	
①ノーベル賞受賞者と若手研究者との対話の 場の提供					
②若手研究者への国際的な研鑽機会の提供					
③諸外国の優秀な研究者の招へい					

評価項目（平成28年度）【項目数：20】		H28 自己点検 評点(案)	分量 (ページ数)		担当委員 (案)	(参考) H27評点	
4 次世代の人材育成と大学の教育研究機能の向上					鷹野委員 佐分委員		
(1) 研究者の養成 ①大学院博士（後期）課程学生や博士の学位を有する者等への支援 ②優れた若手研究者の顕彰		B	10			B	
(2) 若手研究者の海外派遣 ①若手研究者の海外派遣（個人派遣） ②若手研究者の組織的な海外派遣（組織派遣）		A	9			A	
(3) 大学の教育研究機能の向上やグローバル化の支援 ①博士課程教育リーディングプログラム ②大学教育再生加速プログラム ③大学間連携共同教育推進事業 ④地（知）の拠点大学による地方創生推進事業 ⑤大学の世界展開力強化事業 ⑥スーパーグローバル大学等事業 ⑦卓越研究員事業		A	12	31		A	
5 エビデンスに基づいた学術振興体制の構築と社会との連携の推進							
(1) 調査・研究の実施 ①学術システム研究センター ②グローバル学術情報センター		B	7	7	植田委員 佐分委員	B	
(2) 広報と情報発信の強化及び成果の普及・活用 ①広報と情報発信の強化 ②成果の社会還元・普及・活用 (3) 学術の社会的連携・協力の推進		B	9	9		山本委員 高梨委員	B
6 前各号に附帯する業務 (1) 国際生物学賞に係る事務 (2) 学術関係国際会議開催に係る募金事務		B	4	4			B
第二 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置					植田委員 高梨委員		
1 組織の編成及び運営 2 一般管理費等の効率化 3 人件費の効率化 4 業務・システムの合理化・効率化 (1) 外部委託の促進 (2) 随意契約の見直し (3) 情報インフラの整備 (4) 業務運営の配慮事項		B	13			B	
第三 予算、収支計画及び資金計画		B	11	27		B	
第四 短期借入金の限度額		—	—			—	
第五 重要な財産の処分等に関する計画		—	—			—	
第六 剰余金の使途		B	1			B	
第七 その他主務省令で定める業務運営に関する事項							
1 施設・設備に関する計画		—	—	—			
2 人事に関する計画 (1) 職員の研修計画 (2) 人事交流 (3) 人事評定		B	2	B			
3 中期目標期間を超える債務負担		—	—	—			
4 積立金の使途		—	—	—			

(※) 27は、「④助成の在り方に関する検討」と併せて評価。

28は評価項目の見直しに伴い、「①審査・評価の充実」、「②助成業務の円滑な実施」と併せて評価。

第3期中期目標期間の終了時に見込まれる業務実績評価

評価項目（平成28年度）【項目数：22】	H28 自己点検 評点(案)	分量 (ページ数)		担当委員 (案)
第一 国民に対して提供するサービスその他の業務の 質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置				
1 総合的事項				山本委員 佐分委員
(1) 学術の特性に配慮した制度運営	B	10	20	
(2) 評議員会等				
(4) 自己点検及び外部評価の実施				
(5) 公募事業における電子化の推進				
(3) 学術システム研究センター	A	6		
(6) 研究費の不正使用及び研究活動における不正行為の防止	B	4		
2 世界レベルの多様な知の創造				植田委員 山本委員
(1) 学術研究の助成				
①審査・評価の充実	A	12	34	
②助成業務の円滑な実施				
③研究成果の適切な把握及び社会還元・普及	S	9		
④助成の在り方に関する検討				
(2) 学術の応用に関する研究の実施	B	7		
①課題設定による先導的人文学・社会科学 研究推進事業				
②東日本大震災学術調査				
(3) 研究拠点の形成促進	B	6		
(4) 先端研究助成等 ○最先端研究基盤事業	B	5	5	
3 強固な国際協働ネットワークの構築				鷹野委員 高梨委員
(1) 国際的な共同研究等の促進	B	13	36	
①諸外国との二国間交流の支援				
②国際的な共同研究の推進				
③研究教育拠点の形成支援				
(2) 国際研究支援ネットワークの形成	A	12		
①諸外国の学術振興機関との連携				
②研究者ネットワークの強化				
③海外研究連絡センターの戦略的展開				
(3) 世界的頭脳循環の推進とグローバルに活躍する 若手研究者の育成	A	11		
①ノーベル賞受賞者と若手研究者との対話の 場の提供				
②若手研究者への国際的な研鑽機会の提供				
③諸外国の優秀な研究者の招へい				

評価項目（平成28年度）【項目数：22】		H28 自己点検 評点(案)	分量 (ページ数)		担当委員 (案)
4	次世代の人材育成と大学の教育研究機能の向上				鷹野委員 佐分委員
	(1) 研究者の養成 ①大学院博士（後期）課程学生や博士の学位を有する者等への支援 ②優れた若手研究者の顕彰	B	10	38	
	(2) 若手研究者の海外派遣 ①若手研究者の海外派遣（個人派遣） ②若手研究者の組織的な海外派遣（組織派遣）	A	8		
	(3) 研究者海外派遣業務 (4) 大学の教育研究機能の向上やグローバル化の支援 ①博士課程教育リーディングプログラム ②大学教育再生加速プログラム ③大学間連携共同教育推進事業 ④地（知）の拠点大学による地方創生推進事業 ⑤大学の世界展開力強化事業 ⑥スーパーグローバル大学等事業 ⑦卓越研究員事業	A	20		
5	エビデンスに基づいた学術振興体制の構築と社会との連携の推進				
	(1) 調査・研究の実施 ①学術システム研究センター ②グローバル学術情報センター	B	8	8	植田委員 佐分委員
	(2) 広報と情報発信の強化及び成果の普及・活用 ①広報と情報発信の強化 ②成果の社会還元・普及・活用 (3) 学術の社会的連携・協力の推進	B	6	6	山本委員 高梨委員
6	前各号に附帯する業務				
	(1) 国際生物学賞に係る事務 (2) 野口英世アフリカ賞に係る事務 (3) 学術関係国際会議開催に係る募金事務	B	3	3	
第二	業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置				植田委員 高梨委員
	1 組織の編成及び運営 2 一般管理費等の効率化 3 人件費の効率化 4 業務・システムの合理化・効率化	B	11	26	
第三	予算、収支計画及び資金計画	B	11		
第四	短期借入金の限度額	—	—		
第五	重要な財産の処分等に関する計画	B	1		
第六	剰余金の使途	B	1		
第七	その他主務省令で定める業務運営に関する事項				
	1 施設・設備に関する計画 2 人事に関する計画 (1) 人事方針 3 中期目標期間を超える債務負担 4 積立金の使途	— B — —	— 2 — —		